



東北大学グローバル COE プログラム  
Network Medicine 創生拠点

## グローバルCOEシンポジウム Network Medicine による医学・生命科学の新たな潮流

日 時：2013年2月1日（金）

場 所：良陵会館記念ホール

総合司会：中山 啓子(GCOE サブリーダー／医学系研究科・教授)

10:00 - 10:05 開会の挨拶： 五十嵐 和彦 (GCOE サブリーダー／医学系研究科・教授)

### Session 1:

座長：建部 俊介 (医学系研究科・助教)

10:05 - 10:25 オートファジーによる Keap1 タンパク質分解とレドックス恒常性維持

田口 恵子 (医学系研究科・助教)

10:25 - 10:55 循環器系の恒常性維持と疾病発生における臓器間ネットワーク

下川 宏明 (医学系研究科・教授)

10:55 - 11:25 新規に発見された組織恒常性を担う生体内多能性幹細胞：Muse 細胞

出澤 真理 (医学系研究科・教授)

11:25 - 11:55 微生物由来核酸によるヒト造血幹・前駆細胞の分化増殖制御

澤田 賢一 (秋田大学大学院医学系研究科・教授)

11:55 - 12:50 ～昼食 (55分)～

### Session 2:

座長：千葉 秀平 (生命科学系研究科・助教)

12:50 - 13:10 天然変性タンパク質 Bach2 によるヘムシグナルネットワークの制御

松井 (渡部) 美紀 (医学系研究科・助手)

13:10 - 13:30 胚中心における PirB による B 細胞遊走の制御

北口 公司 (医学系研究科・助教)

13:30 - 14:00 一次繊毛形成における膜輸送制御機構：繊毛病との関連

水野 健作 (生命科学系研究科・教授)

14:00 - 14:20 肝グルコキナーゼは神経シグナルを介し BAT 熱産生を抑制することで肥満への引き金を引く

突田 壮平 (医学系研究科・助手)

14:20 - 14:40 ～コーヒーブレイク (20分)～

### Session 3:

座長：中野 星児 (医学系研究科・助手)

14:40 - 15:10 乳癌において TGFβ1 と変異 p53 に応答して EMT を実行するシグナル経路

佐邊 壽孝 (北海道大学大学院医学研究科・教授)

15:10 - 15:40 転写活性変化後に H3K27 修飾変化は起こる

中山 啓子 (医学系研究科・教授)

15:40 - 16:10 細胞の分化・がん化と DNA メチル化制御

仲野 徹 (大阪大学大学院医学系研究科・教授)

### Session 4: パネルディスカッション

モデレーター：中山 啓子 (GCOE サブリーダー／医学系研究科・教授)

キックオフ発言：片桐秀樹 (GCOE サブリーダー／医学系研究科・教授)

パネリスト：仲野徹、佐邊壽孝、片桐秀樹、菅村和夫 (宮城県立病院機構・理事長)

五十嵐和彦、野田哲生 (がん研究会がん研究所・所長)、

佐竹正延 (加齢医学研究所・所長)、青木正志 (医学系研究科・教授)、

江川新一 (災害科学国際研究所・教授)

16:55 - 17:00 閉会の挨拶